キャラクター名
ボレアス

プレイヤー名

メインクラス	メイジ	**Lv.1:**		**レベル**	2
サポートクラス	メイジ	**Lv.1:**	メイジ	**性別**	男
称号クラス				**年齢**	18
種族	ヒューリン			**境遇**	天啓
出自（効果）	魔術師			**目標**	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	10	9	9	11	11	11	9
ボーナス	3	3	3	3	3	3	3
クラス修正	0	0	0	2	2	2	0
他修正							
能力値	3	3	3	5	5	5	3

HP	34
MP	44
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	スタッフ	至近	-1	2	0	1	0	0	0
左手									
頭部	ハット					1			
胴部	ローブ					2			
補助	マント					1			
装身具	グリモア								
能力値			3	0	3	0	5	8	8
スキル									
その他									
総計(右)			2	2	3	5	5	8	8 m
総計(左)									
総計(両)									
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	3			3	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	5			5	+ 2 d
アイテム鑑定	5			5	+ 2 d
魔術判定	5			5	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
野菜*4	
MPポーション*5	
ポーションホルダー	
ランチボックス	

現在重量： 5		
最大重量： 10	所持金： 220	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果： キャラ作成時に任意の３つの能力基本値+1								
マジシャンズマイト	2	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果： 魔法攻撃のダメージに+[SL]Dする。								
エアリアルセイバー	1	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果： 風属性の魔法ダメージにSL*2点ダメージ追加								
エアリアルスラッシュ	1	6	ﾒｼﾞｬｰ	20m	単体	魔術	-	
効果： 魔術判定+1D。ダメージは2D+5風属性ダメージ								
コンセントレイション	1	-	ﾊﾟｯｼﾞｳﾞ	-	自身	-	-	
効果： 魔術判定に+1D								
マジックブラスト	2	3	ﾑｰﾌﾞ	-	自身	自動成功	-	
効果： [ﾒｼﾞｬｰ]□[単体]□[魔術]の対象をSL*2体に変更する								
マジックフォージ	1	3	ﾀﾞﾒ前	-	自信	自動成功	ｼｰﾝ1回	
効果： [SL*2]Dの追加ダメージ								
マジックノウリッジ	1							
効果： 魔術判定+1D								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

赤ん坊の頃、名もない村の辺境の森で捨てられていたところを、一人で森に暮らす老人に拾われ、”ボレアス”と名付けられた。愛情を込めて育てられたためボレアスは老人のことを"おじいちゃん"と呼称し慕っている。自分が捨て子だったことに関してはおじいちゃんからは伝えられており、なぜ捨てられたのかという疑問はあるが、自分の人生や両親を深く恨んでいるわけではない。
おじいちゃんはかつて冒険者として大陸中を旅した魔術師であり、ボレアスはおじいちゃんから冒険者の話を聞くことや魔法を習うことが好きだった。旅先で困っている人々を仲間と協力して解決したり、秘境で貴重なものを見つけたり――。おじいちゃんの話でボレアスは冒険の旅に心を惹きつけられた。自分もいつかおじいちゃんのような冒険者になりたいと思いつつも森を出る踏ん切りがつかない日々を過ごしていた時、どこからともなく
「魔術書を集め、いつか出会う勇者に力を貸せばお前の求める答えが与えられる」
という声を聞いた。これを天啓と考えたボレアスは、人助けをしながら魔術書を集める旅に出ることを決意したのだった。

旅に出てから半月ほど経っており活動にある程度慣れているが、一人旅であるためできることは少ない。特に数的不利になりやすい魔物との戦闘は、やむを得ない場合以外は避けてきた。様々な魔法の知識があるが、特に風魔法が好きという理由でほぼ風魔法しか使っていない。森の中でたった2人で活動していたため他者とのコミュニケーションがずれている。
好奇心旺盛で新しい物事を知ることが好き。